
山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

センターだより第190号(通巻第257号)

2020年12月24日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■第36回 教育フォーラムが行われました

テーマ：オンラインによる授業と学習支援の在り方

令和2年12月7日午後6時から山梨県立図書館多目的ホールに於いて、第36回教育フォーラムを開催しました。今年は、コロナ禍による臨時休業が3月の初旬から5月末くらいまで続き、各学校は学びを止めないために、家庭学習の課題の配布やオンラインによる授業、学習支援等を行いました。今回のフォーラムでは、県内でオンライン授業等を先進的に行った小学校、中学校、高等学校にパネリストをお願いし、その成果や課題について意見交換を行いました。

会場となる県立図書館からの指示で、密を避けるため参加者は運営委員等を含め50名以内としました。当日、幼稚園1名、小学校6名、中学校6名、高等学校1名、支援学校1名、大学5名、教育行政12名の参加者に、運営委員・パネリスト等が加わり総計48名での実施となりました。

各パネリストからは、次のような内容での発表がありました。

● 「オンライン授業のチャレンジから新たな学習活動の創造へ！」

雨宮 基博 氏（道志村立道志小学校 校長）

- ・ 全家庭に情報告知端末（ライブビジョン）があり、それらを活用
- ・ ipad を各家庭に貸与 ・ 動画配信やZOOMによるオンライン授業
- ・ デジタル教科書の活用 ・ 横浜市の小学校とオンラインでの交流活動 等

● 「対面とオンライン それぞれのよさを学びに生かす」

～地域貢献を目指す附属中の実践～

保坂 伸 氏（山梨大学教育学部附属中学校 副校長）

- ・ YouTube による173本の動画配信 ・ ZOOM によるオンライン授業
- ・ 学園祭などの行事を保護者へ配信 ・ G Suite for Education に全員登録
- ・ Classroom, スライド, Microsoft Forms 等の活用 等

● 「遠隔授業のインフラ整備を経験して」

村松 久徳 氏（山梨県立甲府工業高等学校 教諭）

- ・ Microsoft Teams によるオンライン授業 ・ 動画配信
- ・ SNS を使った生徒とのコミュニケーション ・ 実習科目の授業ガイダンス
- ・ 朝礼をオンラインで実施 ・ できることを職員で共有 等

意見交換では、児童生徒のリテラシーや教師の負担、インフラの状況、児童生徒のメンタルケア等について質問や意見が出されました。

また、参加者のアンケートでは、次のような感想がありました。

- ・オンラインとともに、ICT 機器を効果的に用いていくための方向性について共通確認を得ることができた。対面とオンライン、アナログとデジタルを効果的に組み合わせて、資質能力の向上につなげていくことが大切だと思った。
- ・具体的な取組と共に、オンラインの在り方や対面授業での関わり方等を考えていくうえで参考になった。
- ・各校種の実践の様子を知ることができて参考になった。コロナに関係なく、校内研究でもこのような取組の話ができればと思った。
- ・学習保障に向けたオンライン活用の視点を広げることができ、更なる有効活用の重要性について改めて学ぶ機会となった。



■令和2年度教育ボランティア報告会が開催されました！

教育ボランティア学生運営委員会の企画・運営による「教育ボランティア報告会」が開催され、その様子が、次のような「教育ボランティア通信」という形でまとめられました。

教育ボランティア報告会が開催されました！

教育ボランティア通信 No.41

教育ボランティア報告会が、12月9日(水)13:10から、N-11・N-12 教室で行われました。

当日は、教育ボランティア委員会委員長の田中勝先生のお話や、芸術身体教育コース4年の水野佑香さん、科学教育コース4年の平奈歩さんによる教育ボランティア体験談の発表が行われました。

グループ協議では「教育ボランティアで学んだこと」をテーマに話し合いを行いました。教育ボランティア活動では、教育実習とはまた異なる視点で多くの学びが得られたことを確認し合うことができました。ボランティアの現場で持った疑問や悩み



田中勝先生のお話の様子



教育ボランティア体験談発表の様子

を他学年に相談することで、これからどうしていけばいいかという指標を持つことができました。



グループ協議の様子

新型コロナウイルス感染症予防のこともあり、ボランティア活動を行うのには難しい状況もありますが、できる限り教育現場の空気を吸い、教育ボランティアとしての貴重な経験を積んでいきましょう。

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/> で見るすることができます。